



特集

「地域医療共育推進室」

多地域の特徴ある医療を学ぶ

4つの大学が協力し、共に育てる仕組み

概要

文部科学省から、ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業の公募があり、全国11の拠点が採用された中に、私たちの大学があります。今は医療ニーズの多様化が進む時代であり、地域医療の問題点なども変わってきています。だからこそ地域医療を高レベルで実践することのできる医療人を養成する拠点を、複数の大学が共同してつくる、というプロジェクトです。

我々のプロジェクトは岡山大学を主幹に、鳥取大学、鳥根大学、香川大学の4大学が連携して行います。各大学にオフィスがあり、鳥取大学ではここ「地域医療共育推進室」になります。

主に地域枠入学の学生を対象とした教育プログラムの運営を行います。彼らは一般の学生とは別枠で入試を行い、出身地の自治体が奨学金を出して地域枠の学生として入学しますが、卒業後ある一定期間はそ地域の医療機関で従事することを義務としています。そういう学生を対象として、交流の場であったり、県を跨いで学んでもらったりします。4つの大学が協力して共に学生を育て、また、学修者と指導者が共に学び合うこと

でお互いが成長していく仕組みなので「共育」と言っていますが、自身がいる地域の医療だけでなく、特色ある他の医療現場を知ることになり、各地域医療の発展につなげていきます。

目標

実はこの地域枠の学生は、モチベーション高く入学してきて卒業した後、地域で活躍するということを足かせと感じる学生も少なからずいるのが現状です。そうではなく「地域医療」について学んで、「地域医療に従事する」ことをポジティブに考えて、地域医療の魅力を見出すことを目標としていって欲しいと思います。いろんな地域医療を見ることですばらしさを学んでもらいたいですし、そういった教育体制を、4つの大学が協力してつくりたいと思っています。

事業内容

各大学が得意な特色、強みを前面にだしたプログラムを提供していきます。鳥取大学でいうと、「感染症医療」と「救急災害医療」です。私たちの大学は高度救命救急センターという、いわゆる最後の砦とされており、いちはやドクターカーやドクターヘリを導入しています。高度救命救急センターではとてもハイレベルな医療を提供する実際の現場の中で医師や他のメディカルスタッフが実践的に学ぶことのできる教育体制をつくってられます。また、感染症内科ではさまざまな感染症の診断、治療、予防、感染対策における地域連携などについて総合的、実践的に学ぶ教育をおこなってられます。それらを他大学にプログラムとして提供するように準備しています。

本格的な現場実習カリキュラムはまだ準備段階ですが、私たちの大学はこの夏休みに他大学

なかの としや
中野 俊也 教授

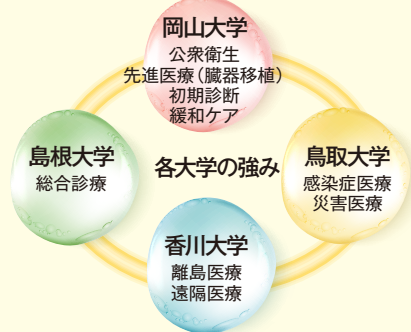
鳥取大学医学部 地域医療共育推進室

から学生をいち早く受け入れて実習を行ないました。「初めて見ていい意味でカルチャーショックを受けた」「感染症に関しても授業は受けていても実践で生きることを目の当たりにしてモチベーションが上がった」という感想をもらい、高度なレベルの医療教育を提供できていると実感しています。

抱負

他の大学と連携してプログラムをつくるというのは私自身も経験がありませんでしたし、全国一斉に始めているので前例もないものです。しかし初めてやるということで、常にアンテナを高めて、内部や外部の情報収集に努め、リアルタイムで常にアップデートしていくことを心掛け、まわりと連携を密にとっていいプログラムをつくりたいと思っています。

臨床実習前の低学年の学生に救急の現場を経験させてみて、直接処置はできなくても早くから現場医療に接して救急を目の前にしたことで、志新たに勉強に取り組みたいという声が聞かれました。これはとてもいい刺激になるし、しっかりと進めていかなければならないと再認識しました。地域枠であることに戸惑いを感じてる学生にもたくさん現場を経験してもらい、将来の地域医療を担う人材になっていただきたいと思います。

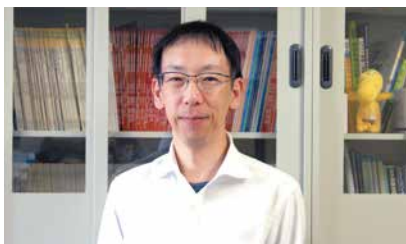


山陰スポット紹介

江島大橋 -ベタ踏み坂-

鳥根県松江市八束町と鳥取県境港市渡町とを結ぶ中海にかかる橋です。全長1,446.2メートル、最上部は高さ約45メートルに達し、コンクリート製の桁橋としては日本最大です。車のテレビCMに使用され、「ベタ踏み坂」として一躍有名になりました。鳥取県側から登り、県境を越えて下りに差し掛かった時の中海の風景は絶景です。また橋の中央部からは大山や中海に浮かぶ大根島を見渡すことができ、サイクリングロードとしても人気です。





うすい しんいち
臼井 真一 教授
保健学科 検査技術科学専攻
病態検査学講座

受験生への
メッセージ

最近ではあらゆる分野において若い世代の活躍がめざましいと感じています。自ら興味をもって、主体的に努力することが成果へ結びつく共通の姿勢ではないでしょうか。その一方で、失敗するとすぐにあきらめてしまう人や長続きしないタイプの人も多いと感じています。大学では自ら課題を見つけ、それを解決していく楽しさや感動を数多く経験し、これから直面する様々な困難を乗り越えていくための力をぜひ養ってほしいと思います。

血中コレステロールの増加は血管を詰まらせる原因の一つと考えられており、健康に悪いというイメージがありますが、実は、適度な量を保つことが重要で、主に肝臓が司令塔となり維持されています。

コレステロールは水に溶けないため、血中では蛋白質との複合体であるリポ蛋白質(図1)として運搬されています。そのリポ蛋白質の異常は運動不足や食生活の乱れによって生じやすく、糖尿病や肥満などで見られることが多いです。リポ蛋白質には様々な種類があり(図2)、健康診断などではHDL-コレステロールやLDL-コレステロールなどの検査

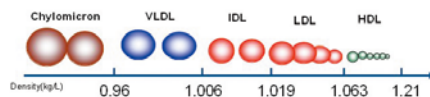


図2. リポ蛋白質の種類

がありますが、そのリポ蛋白質の機能は不明な点も多く、どのリポ蛋白質を臨床検査で測定すべきなのかは実はよくわかっていません。私たちは体内でのリポ蛋白質の働きを調べたり、新しいリポ蛋白質分析法の開発に取り組んでいます。特に注目しているのが「善玉」ともいわれるHDLです。HDLはこれまで肝外の余分なコレステロールを肝臓へ運搬することが主な役割と考えられてきましたが、他にも様々な多面的機能があることがわかってきました。脂肪肝は肝臓に脂肪やコレステロールが過剰蓄積する病気ですが、私たちは脂肪肝の発症予防にもHDLが関与している可能性を考えています。将来的にはこの研究が健康増進や病気の予防に貢献できることを目指しています。

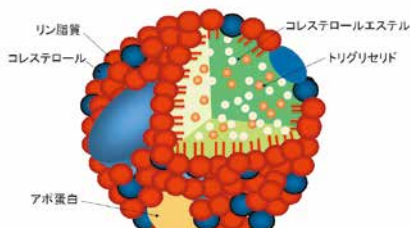


図1 リポ蛋白質の基本構造

サークル
紹介

鳥取大学医学部漕艇部

部員数 55名(男子21名・女子34名)
活動日 火木/放課後 土/午前中
活動場所 中海



活動 中海での乗艇練習、
筋トレ等

毎年オフシーズンにはレクリエーションがあり、今年
は部員で大山ヘスキーをしに行こうと思っています!

目標

男子西医体一般男子舵手付きフォア 決勝進出
女子メディカルレガッタ一般女子舵手付きクワドルプル 優勝

成績

23年度メディカルレガッタ 優勝
23年度西医体メディカルレガッタ 総合第3位
23年度メディカルレガッタ一般女子舵手付きクワドルプル 優勝
23年度メディカルレガッタ女子シングルスカル 優勝

自慢

部員同士の仲がいいので学年学科を超えて遊ぶことが多いです!また、夏と冬にオフがあるので学業やバイトなど部活に縛られず自由に過ごすことができます。

募集

部員のほとんどは大学からボート競技を始めた初心者です!大会でも経験者は少ないので大学に入って新しい競技をやりたい人にピッタリです。もちろん経験者も大歓迎!ぜひ一緒に漕ぎましょう!

生協食堂

チキン南蛮弁当

生協食堂では毎日弁当も作成しています。(2階のショップで販売しています。)チキン南蛮弁当は全メニューの中で人気NO.1です。

人気NO.1
税込
496円

